

宮城県震災復興会議 座長 小宮山宏殿

宮城県震災復興会議の第3回会議の宮城県内開催を求める要請書

2011年7月6日

東日本大震災の被災地宮城県・被災者宮城県民の復旧・復興に対する貴職の活動に敬意を表します。

さて、5月2日に設立された宮城県震災復興会議は既に2回の会議を開催し、第2回会議は6月3日に東京都内で開催、来る7月13日の第3回会議も東京都内で開催予定とされております。会議の開催地について私たち宮城県民には強い違和感があります。

ご承知のとおり、東日本大震災は宮城県・宮城県民に未曾有の被害をもたらし、県内の死者は9,290人、行方不明者は4,619人にのぼり、いまだに県内318か所の避難所で15,405人の県民が避難生活を余儀なくされており(7月4日現在)、応急仮設住宅の建設も遅々として進んでおりません。

このように宮城県民が塗炭の苦しみを受けながら現地で生活再建に向けて懸命の努力をしている現状を直視するならば、宮城県の復興を検討する会議は被災地宮城県でこそ開催すべきものと考えますが、いかがでしょうか。

開催地の問題は、復興会議の在り方の根幹に関わる問題だと認識しており、宮城県震災復興会議は、常に被災地宮城県、被災者宮城県民とともにあるべきであり、遠隔地である東京都内での開催は県民軽視との謗りを免れないと考えるものです。

また、会議は傍聴可能とされているようですが、被災者が東京都内まで傍聴に行けることを予定しているのでしょうか。更に、この問題は、第4回会議を宮城県内で開催すれば「事足れり」とする次元の問題でもありません。

以上より、第3回会議は東京都内ではなく宮城県内で開催することを強く要請いたします。

東日本大震災復旧・復興支援みやぎ県民センター

<代表世話人>

青木正芳 (元日本弁護士連合会副会長)
小沢かつ (宮城県母親大会連絡会会長)
北村龍男 (宮城県保険医協会理事長)
高橋治 (社会福祉法人ビーナス会理事長)
綱島不二雄 (元山形大学教授)
日野秀逸 (東北大学名誉教授)
宮野賢一 (仙台市緑ヶ丘被災者の会)
森 久一 (元・山元町長)

【事務所】

仙台市青葉区大町2丁目5-10 御譜代町ビル305号室
TEL 022(399)6907